

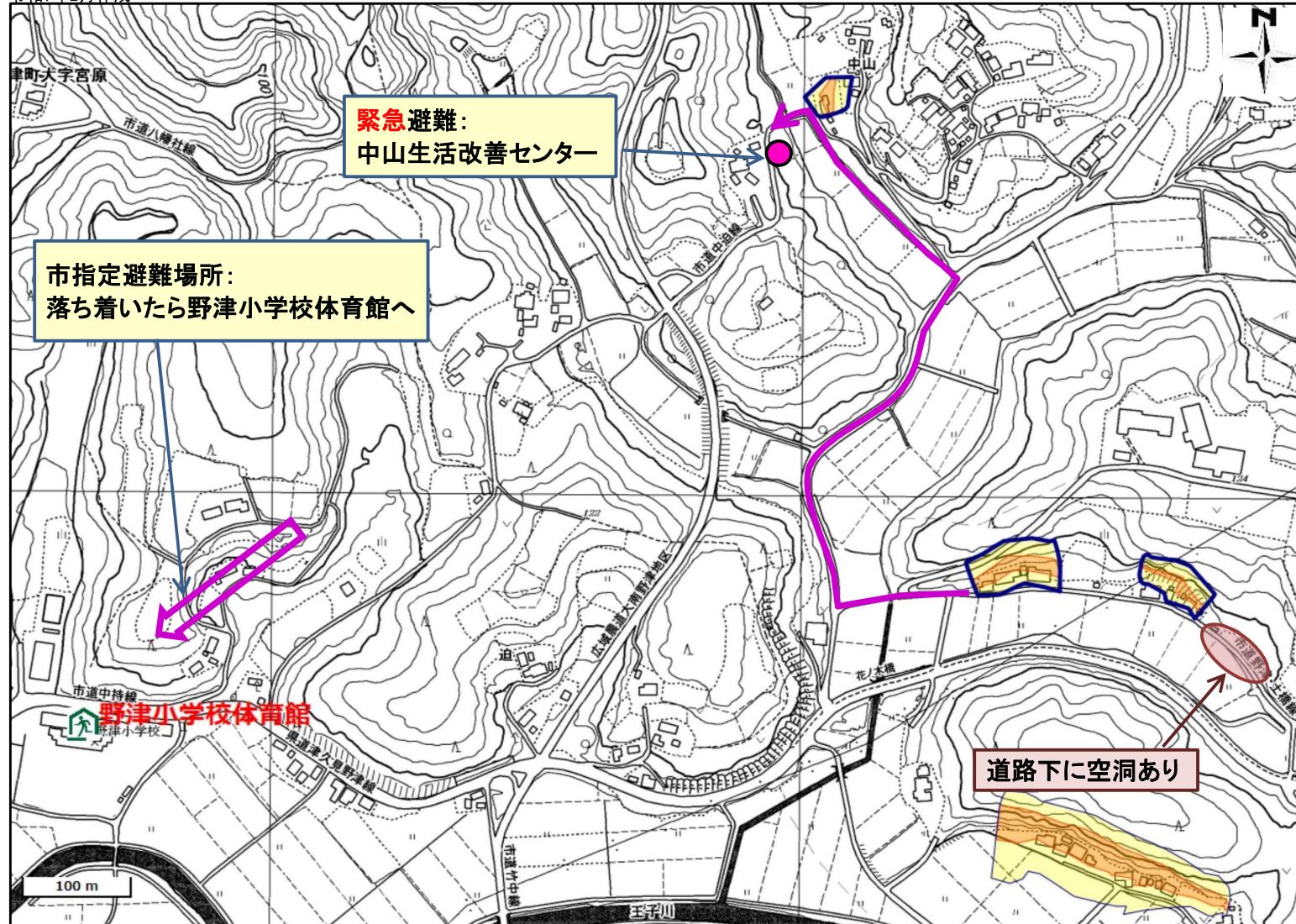


土砂災害ハザードマップ

問い合わせ先:

臼杵市 防災危機管理課 電話 0972-63-1111
ホームページ(<https://www.city.usuki.oita.jp>)

令和7年2月作成



位置図(広域)

項目	記号
土砂災害警戒区域(土石流)	■
土砂災害警戒区域(急傾斜)	■
土砂災害警戒区域(地すべり)	■
土砂災害特別警戒区域	■
市指定避難場所(早めの避難)	■
緊急避難(緊急時)	●
危険が想定される区域	■
主要な避難路	→
注意事項	↓
避難場所の説明	↓
地域内の施設	●

- 黄色でぬりつぶされた範囲（土砂災害警戒区域）は、「土砂災害が発生した場合、住民の生命又は身体に危害が生じるおそれのある区域」です。
- 赤色で囲まれた範囲（土砂災害特別警戒区域）は、「土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ、住民の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれのある区域」です。
- ・土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、大雨のときには警戒避難が必要となりますので、注意してください。
- ・また、土砂災害警戒区域以外の箇所でも土砂災害の発生する可能性がありますので、自分の住んでいる家の周辺の斜面や渓流、避難場所などをよく確認しましょう。

大分県
土砂災害警戒区域等情報
(インターネット提供システム)
https://sabo-oita.jp/dosya_map/



土砂災害に備えて

大雨の時など避難の際に必要となりますので、家族全員がわかる場所に貼っておきましょう。

日頃からの確認



① 土砂災害警戒区域や避難場所等を確認しておきましょう！

② 気象情報を確認し、早めの避難をしましょう！
知人・友人・親戚の家など分散避難も検討しましょう！

雨が強くなる前に



③ 直ちに市役所に連絡しましょう！

土砂災害の種類	前兆現象		
がけ崩れ			

○がけに割れ目が見える。
○がけから水がわき出ている。
○がけから小石がぱらぱらと落ちてくる。

前兆現象を見たら



④ 危険を感じたら直ちに避難しましょう！

⑤ 避難の際はこんなことに気をつけましょう！

- ・渓流から直角方向に避難し、できるだけ渓流から離れましょう。
- ・避難場所へ避難する際は、土砂災害警戒区域等や浸水想定区域を避けた避難経路を選択しましょう。

避難のときは



④ ⑤

○【警戒レベル3】高齢者等避難が出たら

避難に時間を要することが想定される高齢者や要配慮者は、避難所等への避難を開始してください。
その他の方も必要に応じて避難の準備を始めることや、危険を感じる場合は早めの避難を行って下さい。

○【警戒レベル4】避難指示が出たら

計画された避難所等への避難行動に移るとともに、避難所等への避難が困難な場合は周囲の建物より比較的高い建物（鉄筋コンクリート等の堅固な建物）の2階以上（斜面と反対側の部屋）に避難するなど、危険な場所から避難してください。

前兆現象発見!!

避難

緊急避難

中山生活改善センター

市指定避難場所

野津小学校体育館
32-2004

通報

通報先

臼杵市役所 臼杵庁舎

電話: 0972-63-1111

臼杵市役所 野津庁舎

電話: 0974-32-2220

臼杵市消防署

電話: 0972-62-2303

臼杵市消防署 野津分署

電話: 0974-32-2411

防災放送アプリ（コスマキャスト）

スマートフォンからリアルタイムに防災放送が流れます。

端末がiOSの場合はAppStoreから、Androidの場合はPlayStoreから「コスマキャスト」と検索しインストールします。

iOSは左、Androidは右のQRコードを読み込んでインストールできます。



iOS (8.0 以降)
(iPhone、iPad)

Android (4.1 以降)
(Android端末)

臼杵市登録制メール

臼杵市の防災情報を携帯電話で受信できます。

1.携帯電話から次のURLにアクセス

<http://bousai.usuki.gr.jp/mail/mobile/index.php>
※右のQRコードからもアクセスできます。

2.画面の指示に従い登録する。



1時間雨量	人が受けるイメージ	発生状況
10~20ミリ	ザーザー降る	長く続くときは注意が必要。
20~30ミリ	どしゃ降り	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる。
30~50ミリ	バケツをひっくり返したように降る	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。
50~80ミリ	滝のように降る	土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
80ミリ以上	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる	雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。